



ユーザーマニュアル

株式会社 スカイコム

はじめに

本書は SkyPDF Touch Ink for win（以下、本製品）におけるデジタルインク入力機能の基本的な使用方法を説明するものです。本製品をご使用の際には本書をご参照の上、正しくお使いください。

注意事項

本製品は、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。

エンドユーザライセンス契約書により許可されている場合を除き、当社の書面による事前の許可なしに本書および本製品について複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。

本製品を輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。

当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。

当社はエンドユーザライセンス契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。

予めご了承ください。

商標情報

- Microsoft、Windows、Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。
- 本製品は OpenSSL ツールキットを利用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- 本製品は以下のライブラリを使用しています。
 - ・ LibJpeg (Copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.)
 - ・ FreeType (Copyright (C) 1996-2001, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner)

システム環境

動作条件

本製品は、デジタルサインプラグインのオプションをご利用の場合のみ、使用可能です。デジタルサインプラグインのオプションは、Microsoft. Ink コンポーネントに対応している OS のみ対応しています。推奨環境については、SkyPDF2016 の動作環境に準じます。

OS	日本語 / 英語 / 中国語（繁体字） / 中国語（簡体字） Microsoft® Windows® 7 (x64, x86) Microsoft® Windows® 8.1 (x64, x86) Microsoft® Windows® 10 (x64, x86)
CPU	1GHz 以上（利用する OS の推奨以上）
メモリ	32bit は 1GB、64bit は 2GB 以上（利用する OS の推奨以上）
ディスク空き容量	200MB 以上

また、上記 OS に対応した入力デバイスであれば、マウス操作以外のタッチ操作やペン入力操作においてもインク入力機能はご使用いただけます。

対応言語

日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）

目次

はじめに	2
システム環境	3
動作条件	3
対応言語	3
目次	4
用語集	5
1 制限事項	6
1.1 インク入力できない PDF	6
1.2 最初のストロークが描画されない	6
1.3 Undo・Redo 機能の対象	6
1.4 選択モード中の表示	6
1.5 イメージに関する制限	7
1.6 テキストに関する制限	7
1.7 注釈やフォームの前面にはインク入力できない	8
1.8 タッチ操作について	8
2 概要	9
2.1 入力の種類	9
2.2 付加情報を埋め込む	9
3 インク入力設定	10
3.1 インク設定の変更方法	10
3.2 設定画面について	11
4 インク入力	18
4.1 インク入力ダイアログ	18
4.2 イメージ・パスの描画と埋め込み	21
4.3 テキストの描画と埋め込み	24
5 テキストフォームフィールドのインク入力	29
5.1 インク入力ダイアログ	29
5.2 適用されない設定項目	31
5.3 出力形式	32

用語集

本書における主な用語の定義をご説明します。

※本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。

本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

キーワード	解説
インク	デジタルインク機能。ユーザーがフリーハンドで入力することができる機能のこと 本書では「 インク 」と略す
インク入力モード	[ツール]メニューやアイコンから[インク入力]を選択した状態のこと この状態に移行することによって、PDF ファイル上にインクを描画することができる または、テキストフォームフィールドを選択して、テキストフォームフィールド上にインクを描画できるようになった状態のこと
埋め込み	インクを使用して描画した内容を確定し、PDF ファイルに編集を加えること “埋め込む”ことで、誰がどのようなデバイスでファイルを閲覧しても同じように表示することができる
環境設定	[ツール]メニューやアイコンから表示する[環境設定]ダイアログのこと このダイアログから設定した内容はデバイスに保存されるため、SkyPDF アプリケーションを終了した後も有効となる
GPS 情報	デバイスの GPS 取得機能を利用して取得した位置情報のこと
ストローク情報	描画した軌跡についての座標情報のこと
セキュリティの設定	PDF ファイルはファイルの内容を暗号化することによって、閲覧や編集、印刷等をユーザー毎に制限することができる このような設定を行うこと
タッチ操作	タッチパネルにユーザーが手で触れて操作すること
ダイアログ	ダイアログボックスのこと
電子署名	電子文書上で、紙文書における押印やサインにあたる役割をはたす機能 本人確認や偽造・改竄の防止に役立つ
ペン入力操作	タッチパネルにタッチペン（スタイラスペン）で触れて操作すること また、ペントブレット上に専用の電子ペンで触れて操作すること
文字認識	手書きで入力した内容を文字として判別し、変換する機能のこと
レジストリ	Windows OS の設定情報のデータベースのこと

1 制限事項

本製品を使用する際、下記の制限事項にご注意ください。

1.1 インク入力できない PDF

PDF ファイルの中には、ファイルの作成者の意図により文書内容の変更が制限されているものがあります。そういったセキュリティの設定により文書の変更が許可されていない PDF ファイルに対しては、デジタルインクの入力はできません。

セキュリティが設定された PDF にインク入力する必要がある場合は、セキュリティの設定者にお問い合わせください。

1.2 最初のストロークが描画されない

インク入力の際、本製品のメインウィンドウが有効でない（他のアプリケーションやダイアログが画面の最前面にある）場合、PDF 表示エリア上をドラッグしてもインクの描画として認識されません。そのため、入力したはずの最初のストロークが描画されていないことがあります。インクの描画は、本製品のメインウィンドウにフォーカスが当たっている状態で実施してください。

1.3 Undo・Redo 機能の対象

デジタルインクに関する以下の操作は、インク入力ダイアログ内にある[Undo][Redo]ボタンの機能の対象となりません。

- ・消しゴム機能操作
- ・描画範囲の移動
- ・描画範囲の拡大・縮小

1.4 選択モード中の表示

インク入力ダイアログの[選択]モードにすると、描画内容の移動やリサイズのために破線の枠が表示されますが、[マウス・タッチでスクロール操作]のチェックが ON の場合、枠は表示されません。ただし、ペン入力操作のときは、[マウス・タッチでスクロール操作]が ON でも枠が表示されます。

また、インク入力ダイアログにフォーカスされている場合も、枠は表示されません。カーソルを PDF 表示エリア上に配置したりインクを描画したりして、インク入力ダイアログからフォーカスはずすと枠が表示されます。

1.5 イメージに関する制限

出力形式をイメージに設定している際インクの色が白に設定されていると、イメージの埋め込みは行われますが、PDF 表示エリアの背景色にかかわらず描画内容は透過されます。埋め込みは行われているため確定後の選択等は可能ですが、透過されているため表示されません。

また、インクの色が薄い灰色などの白に近い色の場合、埋め込まれたイメージの描画内容の表示品質が粗くなってしまう場合があります。

1.6 テキストに関する制限

1.6.1 英語の認識エンジンでは日本語は文字認識されない

認識エンジンに日本語が設定されている場合、描画内容は日本語と英語のいずれかから最適な文字を自動的に選択して変換されますが、文字認識設定で認識エンジンに英語が設定されている場合は、描画内容はすべて自動的に英語として変換されます。

1.6.2 文字認識結果エリアの表示

文字認識結果エリアのフォントは MS UI ゴシックです。そのため MS UI ゴシックが対応していない文字を文字認識した場合、文字認識結果エリアには正しく表示されません。設定しているフォントが対応していれば、埋め込みそのものは正しく実行されます。

1.6.3 対応していない文字

IVS 文字（漢字の異体字セレクタ）およびサロゲートペア（16 ビット符号単位の組による単一の抽象文字）には本機能は対応していません。

また、描画した内容を文字認識した結果、すべての文字が設定したフォントに存在しなかった場合、埋め込み処理を行わず文字認識結果表示エリアはクリアされます。

1.6.4 縦書き・複数行のテキスト入力できない

出力形式をテキストに設定した場合、どのような配置で入力しても、すべて一行の横書きテキストとして挿入されます。

1.6.5 同一行として判定される基準

自動変換によってテキストを挿入する際、同一行として判定されるのは、直前に自動変換によって挿入されたテキストとなります。その直前に挿入されたテキストが Undo され表示されていなかった場合でも、同一行の判定に使用されるテキストはその表示されていないテキストのままです。

同一行判定については「[4.3.3 \[自動変換\]設定が ON のとき](#)」をご参照ください。

1.7 注釈やフォームの前面にはインク入力できない

コメント、図形、スタンプ等といった注釈や、チェックボックスやコンボボックス等のような入力フォームの上にインク入力を行った場合、描画中は注釈やフォームの前面に表示されていますが、確定後は背面に挿入されます。

ただし、テキストの入力フォームの上にインク入力を行った場合は、フォームより前面に挿入されます。

1.8 タッチ操作について

本製品はタブレット端末等からのタッチ操作に対応していますが、インク入力モード中の PDF 表示エリア上での操作は以下のようになります。

[マウス・タッチでスクロール操作]チェックボックスが **OFF** の場合

- ・ PDF 表示エリア上での全ての操作は、インクの描画として認識される

[マウス・タッチでスクロール操作]チェックボックスが **ON** の場合

- | | |
|----------|--------------|
| ・ タップ | …… 機能しない |
| ・ ダブルタップ | …… ページの拡大表示 |
| ・ パン | …… ページのスクロール |
| ・ ピンチイン | …… ズームイン |
| ・ ピンチアウト | …… ズームアウト |
| ・ 長押し | …… 機能しない |
| ・ スワイプ | …… 機能しない |

2 概要

本製品は、SkyPDF Professional の標準機能に加えて、インク入力機能を使用することができます。

本書では、主にインク入力機能についてご説明します。標準機能については、SkyPDF2016 のユーザーマニュアルをご参照ください。

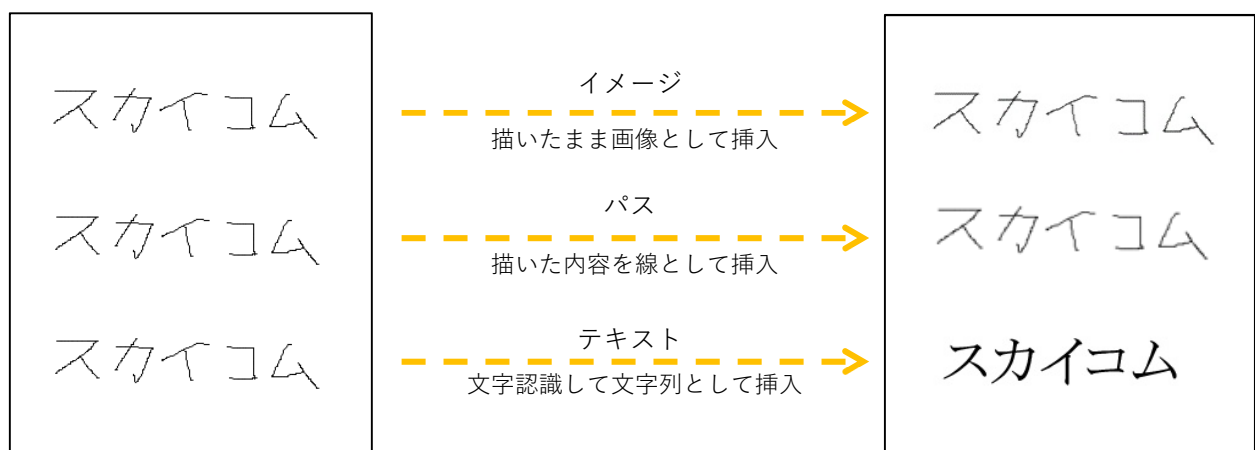
インク入力機能とは、ユーザーが PDF ファイルに手書きで直接編集を加えるための機能です。入力内容はイメージやパス、テキストとして PDF ファイルに挿入されます。

2.1 入力の種類

インク入力機能を使用して描画内容を挿入する際、ユーザーは挿入方法と出力形式を選択できます。

挿入方法には[コンテンツ]と[注釈]の 2 種類があり、この設定によって電子署名の付与や挿入後の変更の可否が異なります（参照：[3.2.1 挿入方法の設定](#)）。

出力形式には[イメージ]、[パス]、[テキスト]の 3 種類があり、どのようなコンテンツまたは注釈として挿入するのか選択することができます（参照：[3.2.2 出力形式](#)）。



2.2 付加情報を埋め込む

PDF ファイルにインク入力機能の描画内容を埋め込む際、以下の付加情報も任意に含めることができます（参照：[3.2.3 付加情報](#)）。

- 描画内容のストローク情報
- 埋め込み時の GPS 情報（取得可能な場合のみ）

現在は上記の付加情報を活用する機能はありませんが、将来的に、上記の付加情報を利用して手書きでのサイン認証機能や誰がどこで編集した内容なのかが分かる機能をご提供する予定です。

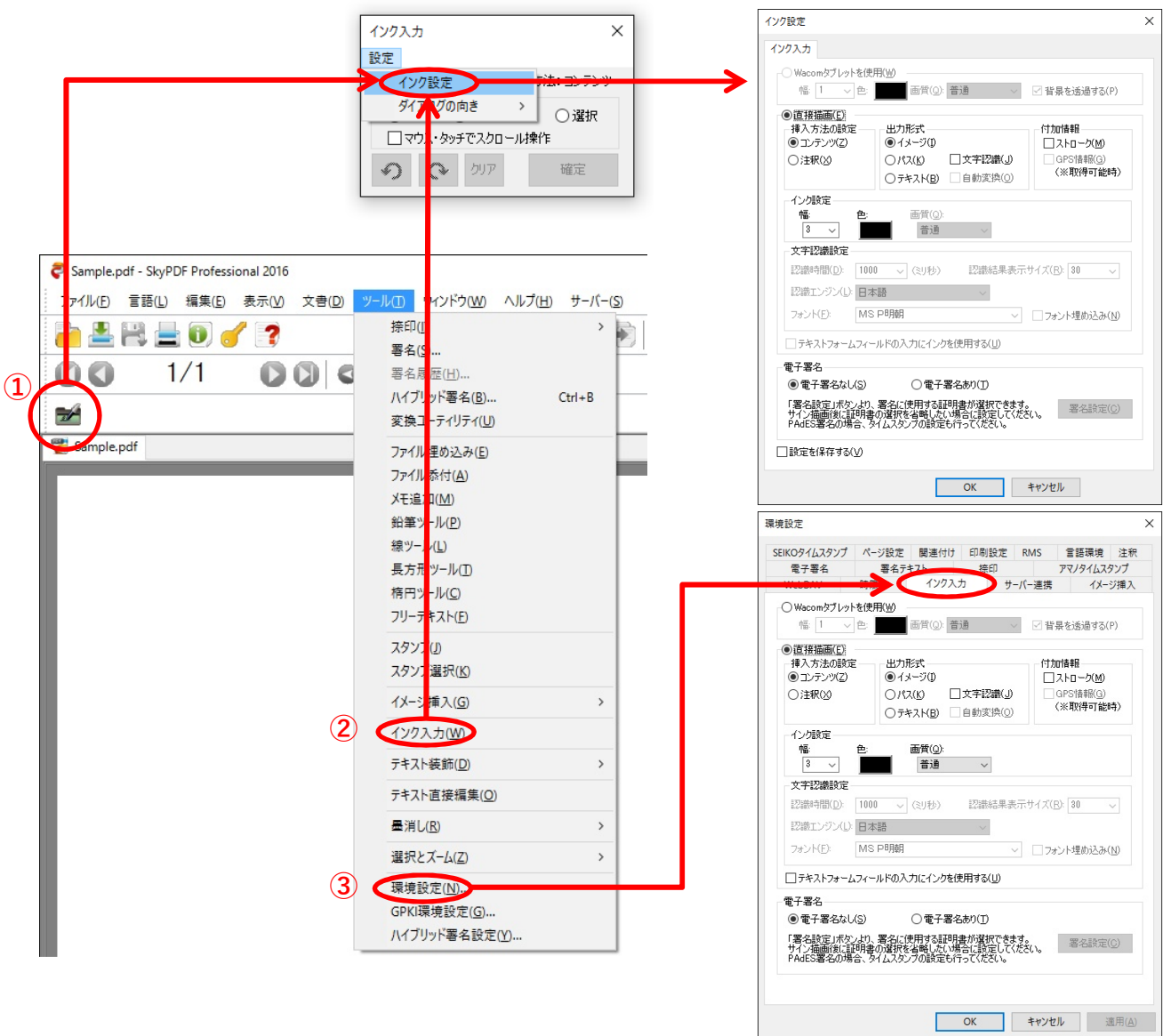
3 インク入力設定

インク入力の出力方式や付加情報の有無、インクの幅・色などは設定画面から変更することができます。

3.1 インク設定の変更方法

インク入力に関する設定画面は、以下の3つの手順のいずれかで表示されます。

- ① [インク入力] - [設定] - [インク設定]
- ② [ツール] - [インク入力] - [設定] - [インク設定]
- ③ [ツール] - [環境設定] - [インク入力] タブ



設定画面内の表示内容は基本的に同じものですが、①②の手順で表示されるインク設定ダイアログには[設定を保存する]チェックボックスが表示されます。

③での設定はアプリケーション終了後も有効ですが、①②の設定はこのチェックボックスが OFF の場合、インク入力モードの解除と同時に無効になります。

3.2 設定画面について

Wacom タブレットを使用

Wacom 社製のサインタブレットを使用してサインする機能についての設定です。
SkyPDF Professional のみ表示されます。

直接描画

デジタルインクの設定です。

電子署名

電子署名の有無の設定です。
SkyPDF Professional のみ表示されます。

Wacom タブレットの設定については、『SkyPDF2016_ユーザーマニュアル(4.タイムスタンプ・電子署名)』をご参照ください。

3.2.1 挿入方法の設定

デジタルインク入力による描画内容を、どのような形で PDF ファイルに挿入するのか選択できます。

● コンテンツ

コンテンツとして挿入すると、描画内容は PDF ファイルに埋め込まれるためサイズや位置の変更や削除はできませんが、出力形式が[イメージ]であれば、挿入時に電子署名を付与することができます。

● 注釈

注釈として挿入すると、サイズや位置の変更や削除ができます。
ただし、出力形式として[テキスト]は選択できません。

3.2.2 出力形式

出力形式

☒ イメージ(I)

☐ パス(K) ☐ 文字認識(J)

☐ テキスト(B) ☐ 自動変換(O)

デジタルインク入力による描画内容を、どのような形式で PDF ファイルに挿入するのか選択できます。

- **イメージ**

描画した内容をイメージとして挿入します。

- **パス**

描画した内容をパスとして挿入します。

[イメージ]との違い：

挿入後にサイズを変更しても画質が劣化しない。

挿入時に電子署名を付与することはできない。

筆圧は検知しない。

- **テキスト**

描画した内容を文字認識しテキストのコンテンツとして挿入します。

- ☐ **文字認識**

このチェックが ON の場合、描画内容の文字認識を行い、文字認識結果エリアの文字を付帯情報として埋め込みます。

- ☐ **自動変換**

このチェックが ON の場合、描画から一定時間が経過すると自動的に挿入されます。

3.2.3 付加情報

付加情報

☐ ストローク(M)

☐ GPS情報(G)
(※取得可能時)

PDF ファイルに描画内容を埋め込む際、同時に付加する情報を選択できます。

- **ストローク**

このチェックが ON の場合、描画内容のストローク情報を付加します。

- **GPS 情報**

このチェックが ON の場合、埋め込み実行時の GPS 情報を付加します。

本製品を GPS センサーが搭載された GPS 情報を取得可能なデバイスで使用しているときのみ、選択が可能となります。

注1. GPS 情報が取得できなかった場合、「GPS 情報の取得に失敗しました」というダイアログが表示されます。[再試行]ボタンを押下すると再度 GPS を取得しようとし、[キャンセル]ボタンを押下すると GPS 情報を付加せずに描画内容を埋め込みます。

注2. 埋め込まれたストローク・GPS 情報を活用するための機能は現在利用できません。

3.2.4 インク設定

インク設定

幅:	色:	画質(Q):	対象ペンデバイス(P):
3		普通	ペン1(画面に統合)

インクの見た目を変更できます。

- **幅**

コンボボックスから一つを選択するか半角数字を直接入力することで、インクの幅を設定できます。ただし入力可能な値は 1～20 の整数のみです。

インク幅の数値は常に、ページ拡大率 100%時の幅を基準としています。つまり、ページ拡大率 100%時にインク幅 1 で描いた線と、ページ拡大率 200%時にインク幅 1 で描いた線は、同じ幅となります。

- **色**

インクの色を設定できます。

出力形式がテキストの場合、挿入されるテキストの色もここで設定した色となります。

- **画質**

出力形式がイメージの場合、普通・高画質・最高画質の 3 つの中から、埋め込むイメージの画質を設定することができます。環境設定の「**インク入力**」タブからのみ設定が可能です。

- **対象ペンデバイス**

このコンボボックスは、複数のペン入力デバイスが認識されているとき表示されます。ここで設定されているペン入力デバイスでのみ、インク入力が可能です。

注1. ペン入力操作で描画ができないときは、このコンボボックスの設定を確認してください。

3.2.5 文字認識設定

文字認識設定

認識時間(D):	1000	(ミリ秒)	認識結果表示サイズ(B):	30
認識エンジン(L):	日本語			
フォント(F):	MS P明朝		<input type="checkbox"/> フォント埋め込み(N)	

文字認識に関する設定を変更できます。

- **認識時間**

コンボボックスから一つを選択するか半角数字を直接入力することで、認識時間をミリ秒単位で設定できます。ただし、入力可能な値は 1～5000 の整数のみです。

認識時間とは？

インク入力操作が終了した時点（マウス操作であればマウスの左ボタンを離したとき。タッチ操作やペン入力操作であれば画面から入力に使用していた手やペンを離したとき。）から文字認識や自動変換を行うまでの時間のことです。インク入力操作が再開しないままここで設定した時間が経過すると、設定に応じて文字認識や自動変換が行われます。

- **認識結果表示サイズ**

出力形式がテキストの場合、コンボボックスから一つを選択するか半角数字を直接入力することで、インク入力ダイアログの文字認識結果表示エリア（参照：[4.1 インク入力ダイアログ](#)）に表示されるテキストのフォントサイズを設定できます。ただし、入力可能な値は 1～50 の整数のみです。

また、ここで設定するのはあくまで文字認識結果表示エリアのフォントサイズであって、実際に PDF ファイルに埋め込まれるテキストのフォントサイズではありません。

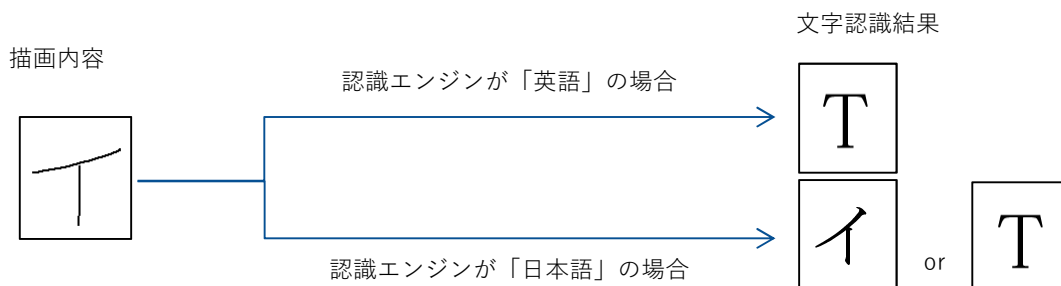
- **認識エンジン**

文字認識を行うエンジンを設定できます。

描画内容を文字認識するとき、ここで選択された言語で認識されます。

認識エンジンが英語の場合は、アルファベットか記号として文字認識されます。

認識エンジンが日本語の場合は、ひらがな・カタカナ・漢字・アルファベット・記号として文字認識されます。



- **フォント**

出力形式がテキストの場合、埋め込み時のフォントの種類を設定することができます。

認識エンジンが日本語の場合は、Shift JIS に対応したフォントのみ選択が可能です。

認識エンジンが英語の場合は、ANSI と Shift JIS に対応したフォントのみ選択が可能です。

- **フォント埋め込み**

このチェックが ON の場合、テキストを埋め込むとき同時にフォント情報も埋め込まれます。

3.2.6 テキストフォームフィールドの入力にインクを使用する

- ☒ テキストフォームフィールドの入力にインクを使用する テキストフォームフィールドの入力に、インク入力を使用するかどうか設定することができます。

このチェックボックスにチェックを入れると、テキストフォームフィールドへのテキスト入力に、インク入力機能を使用できるようになります。

※ 環境設定の[インク入力]タブで設定できます。インク入力ダイアログの[設定]－[インク設定]の選択で表示される画面からは、設定できません。

3.2.7 電子署名

電子署名

☐ 電子署名なし(S) ☒ 電子署名あり(T)

「署名設定」ボタンより、署名に使用する証明書が選択できます。
サイン描画後に証明書の選択を省略したい場合に設定してください。

署名設定(O)

出力形式がイメージの場合、埋め込みと同時に電子署名を付与するか設定することができます。

※ SkyPDF Professional にのみ表示されます。

● 電子署名なし / 電子署名あり

電子署名を付与するかどうか選択できます。

● 署名設定

選択すると署名設定ダイアログが表示されます。

署名設定ダイアログ

[署名設定]ボタンを押下すると表示され、電子署名に関する設定を行うことができます。

このダイアログで設定した内容は、前設定画面の「設定を保存する」チェックボックスの ON/OFFにかかわらずレジストリに保存され、アプリケーション終了後も有効となります。

① 証明書種別（必須）

☐ ファイル

本製品にてユーザー自身が作成した証明書を利用する際に選択します。セルフサイン用の証明書を持っていない場合は、[新規作成]ボタンから作成することができます。

☐ 証明書ストア

第三者機関から発行された証明書や IC カードを利用する際に選択します。

- ☐ マイナンバーカード/住基カード/LGPKI 旧職責カード
マイナンバーカード/住基カード/LGPKI 旧職責カードのいずれかを使って、公的個人認証の電子署名を利用する際に選択します。
- ② 署名者情報（任意）
 - ☐ 署名理由
署名理由をプルダウンから選択するか、直接入力することができます。
 - ☐ 署名場所
100 文字以内で署名場所を入力することができます。
- ③ 証明書とパスワード（必須）
 - ☐ 証明書
①の証明書種別で[ファイル]か[証明書ストア]を選択した場合、使用する証明書を指定します。
 - ☐ パスワード
指定した証明書のパスワードを入力します。
- ④ テキストの設定（任意）
署名エリア上に追加するテキストを選択します。
 - ☐ 名前 …… 署名者名
 - ☐ 理由 …… ②の署名者情報の署名理由
 - ☐ 識別名 …… 通常は署名者名
 - ☐ ラベル …… 署名に表示される各刻目の項目名
 - ☐ 日付 …… 署名日時
 - ☐ 場所 …… ②の署名者情報の署名場所
- ⑤ 文書の保存設定
 - ☐ サイン時に保存先を選択
署名が付与された PDF ファイルを保存するため、イメージの埋め込みと同時に名前を付けて保存ダイアログが表示されます。
 - ☐ 上書き保存
イメージの埋め込みと同時に、署名が付与された PDF ファイルを自動的に上書き保存します。
- ⑥ 設定をクリア
署名設定ダイアログの設定を全てデフォルトの状態に戻します。

3.2.8 設定を保存する

☐ **設定を保存する(V)** インク入力モード時にインク入力ダイアログの[設定]–[インク設定]から設定画面を呼び出したときにだけ表示されるコントロールです。常に OFF で表示されます。

環境設定から設定した内容は、下記の「チェックボックスが ON の場合」と同様に常にレジストリに保存されます。

- **チェックボックスが ON の場合**
設定画面の[OK]ボタン押下と同時に、設定内容がレジストリに保存されます。
アプリケーション終了後も設定内容は保持されます。
- **チェックボックスが OFF の場合**
インク入力モードの解除と同時に設定内容は破棄されます。

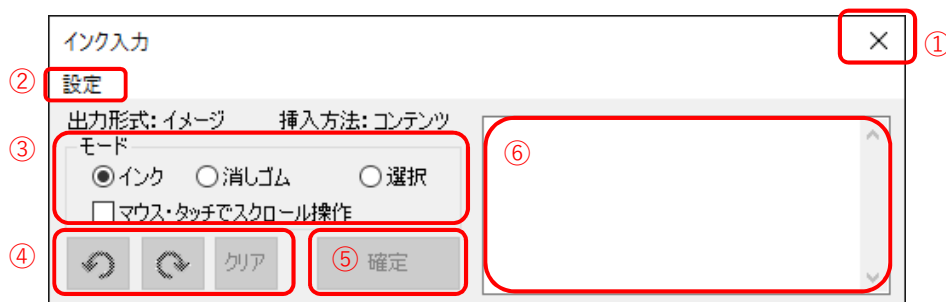
4 インク入力



アイコンの選択か、[ツール]メニューの[インク入力]を選択して、インク入力モードを開始します。インク入力モードの間は、画面左上にインク入力ダイアログが表示されます。

注. インク入力モードの間は、PDF ファイルの保存やインク入力以外の方法での編集はできません。インク入力ダイアログを閉じて、インク入力モードを解除してください。

4.1 インク入力ダイアログ



① インク入力モード終了

「×」ボタンを押下してダイアログ閉じると、インク入力モードが終了します。

注. ダイアログを閉じるときに確定前の描画があった場合、警告なく描画内容は破棄されます。

② [設定]メニュー

□ インク設定

設定画面が表示されます。（参照：[3.2 設定画面について](#)）

□ ダイアログの向き

インク入力ダイアログの向きを変更することができます。



③ モード

カーソルのモードを選択します。

□ インク

インクを描画するときに使用します。

このモードを選択した状態で、PDF 表示エリア上でマウสดラッグ操作を行うと、自由に線を描画することができます。

☐ 消しゴム

確定前の描画内容であれば、この消しゴムモードで削除することが可能です。

このモードを選択した状態で、描画された線の上でマウสดラッグ操作を行うと、カーソルが触れた部分が削除されます。

☐ 選択

このモードに移行すると、確定前の描画内容が全て選択状態となります。

<描画内容が選択状態にあるとき>

選択された描画内容は白抜き表示となり、拡大・縮小・移動が可能です。

選択中、選択枠以外の箇所をクリックすると、選択状態は解除されます。

<選択状態が解除されているとき>

投げ縄選択が可能です。

☐ マウス・タッチでスクロール操作

このチェックボックスが ON の場合、インク入力モード中でも PDF 表示エリア上でのマウสดラッグやタッチ操作のスワイプなどによるスクロール操作が可能となります。

このチェックボックスが ON の間は、マウス操作やタッチ操作によってインクを描画することはできません。

④ Undo、Redo、クリアボタン

☐ Undo ボタン



<出力形式テキストで自動変換を設定している場合>
挿入されたテキストを一つ元に戻します。

<それ以外の場合>

描画内容をストローク単位で一つ元に戻します。

☐ Redo ボタン



<出力形式がテキストで自動変換を設定している場合>
Redo ボタンは使用できません。

<それ以外の場合>

Undo した描画内容をストローク単位で一つ描画し直します。

☐ クリアボタン



<出力形式がテキストで自動変換を設定している場合>
クリアボタンは使用できません。

<それ以外の場合>

確定前の描画内容をすべて削除します。

⑤ **確定ボタン**

描画内容や文字認識結果を確定し、PDF ファイルに埋め込みます。

出力形式がテキストで自動変換が設定されている場合は、使用する必要がないので無効になっています。

⑥ **文字認識結果エリア**

このエリアには、描画内容の文字認識の結果が文字列として表示され、文字認識結果を確認したり自由に編集したりすることが可能です。

出力形式がイメージの場合は文字認識が設定されているとき、出力形式がテキストの場合は自動変換が設定されていないときに、文字認識結果エリアが表示されます。

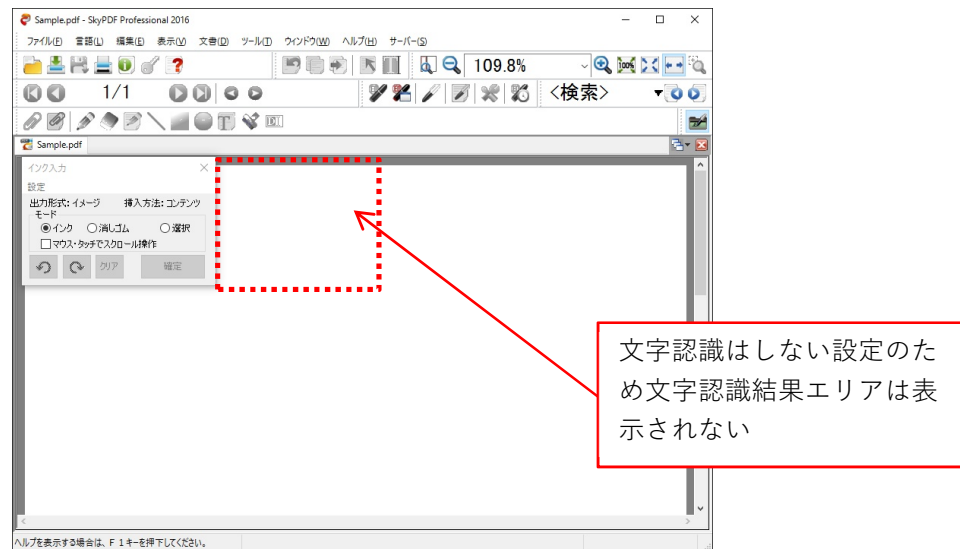
※ **ペン入力操作でインクを描画できないとき**

ペン入力デバイスが複数認識されているため、実際に使用しているペン入力デバイスと**[対象ペンデバイス]**設定が合致していない可能性があります。設定画面を開き、**[対象ペンデバイス]**設定を確認してください。（参照：[3.2.4 インク設定](#)）

4.2 イメージ・パスの描画と埋め込み

出力形式として[イメージ]または[パス]を設定した場合の描画と埋め込みについて説明します。
出力形式設定の詳細については「[3.2.2 出力形式](#)」をご参照ください。

4.2.1 [文字認識]設定が OFF のとき



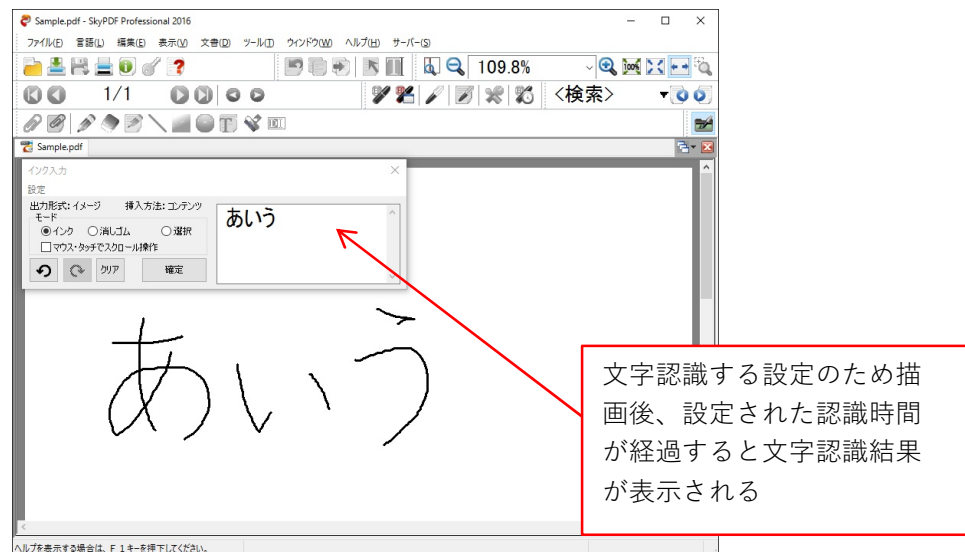
確定 押下前であれば、[インク]、[消しゴム]、[選択]モードや[Undo]、[Redo]、[クリア]ボタンによる追記や編集が可能です。

確定 を押下すると、描画した通りの内容が PDF ファイルに埋め込まれます。

注1. 描画後に設定画面から[文字認識]を ON にしても、文字認識は実行されません。[文字認識]を ON にした後に描画を追加した場合は、OFF のときの描画内容も含めて全て文字認識されます。

注2. **確定** ボタン押下時の設定にかかわらず、描画された通りの内容が埋め込まれます。

4.2.2 [文字認識]設定が ON のとき



確定 押下前であれば、[インク]、[消しゴム]、[選択]モードや[Undo]、[Redo]、[クリア]ボタンによる追記や編集が可能です。

確定 を押下すると、文字認識結果の文字列がイメージ情報として付加された状態で、描画した通りの内容が PDF ファイルに埋め込まれます。
このとき埋め込まれる文字認識情報とは、文字認識エリアの文字のユニコード値です。

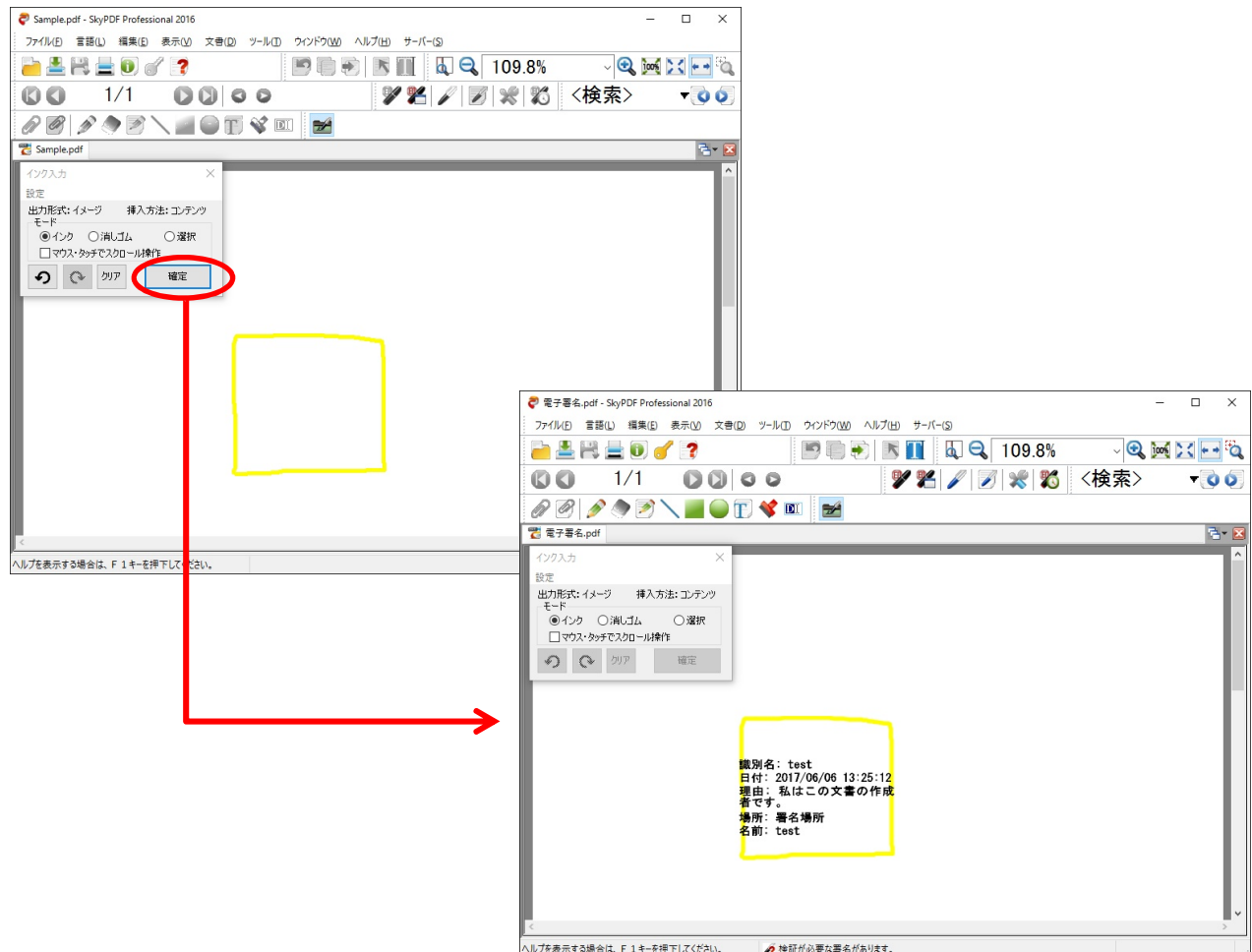
注1. 描画後に設定画面から[文字認識]を OFF にし、[確定]ボタンを押下すると、文字認識結果は埋め込まれません。

注2. [確定]ボタン押下と同時に埋め込まれる文字列の情報は、文字認識結果エリアに表示されている文字列です。[確定]ボタン押下前に、文字認識結果表示エリアに編集を加えた場合、その結果が埋め込まれます。

4.2.3 [電子署名]を付与するとき

SkyPDF Professional では、イメージの埋め込みと同時に電子署名を付与することができます。電子署名設定の詳細については「[3.2.7 電子署名](#)」をご参照ください。

※ 挿入方法が[パス]のときは設定できません。



署名設定で[サイン時に保存先を選択する]を選択している場合、**確定**を押下すると、名前を付けて保存ダイアログが表示され、署名が付与された別名 PDF ファイルとして保存することができます。

署名設定で[上書き保存]を選択している場合、**確定**の押下と同時に、署名が付与された状態で PDF ファイルが上書き保存されます。

4.3 テキストの描画と埋め込み

出力形式としてテキストを設定すると、インク入力で描画した内容をテキストとして PDF ファイルに埋め込むことができます。

出力形式設定の詳細については「[3.2.2 出力形式](#)」をご参照ください。

4.3.1 フォントサイズと埋め込み位置

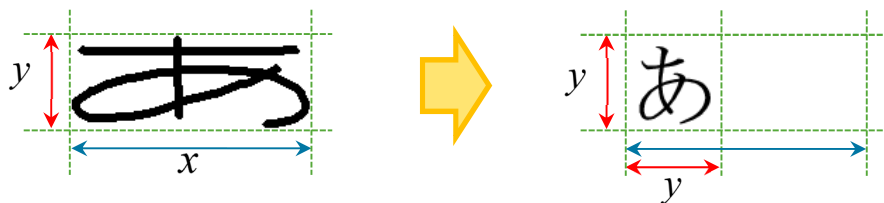
- フォントサイズ

A：描画内容の縦幅の値

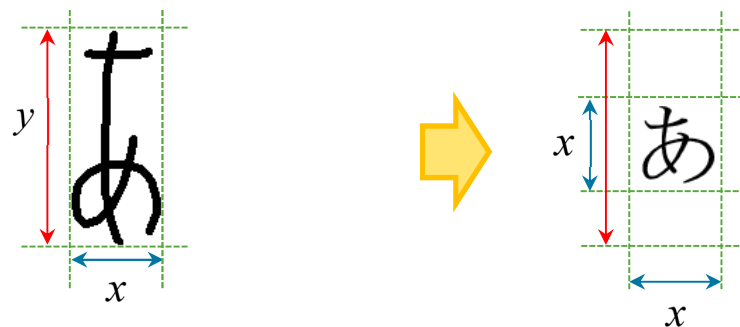
B：描画内容の横幅を文字認識結果の文字数で割った値

上記 A、B の値を取得し、値の小さい方を自動的にフォントサイズとします。

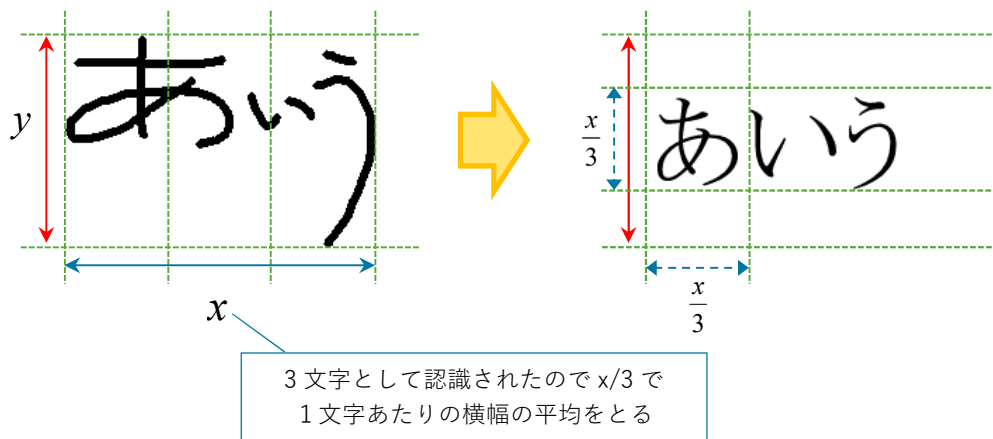
A：縦幅 < 横幅 の場合



B：縦幅 > 横幅 の場合



複数の文字を入力した場合



- テキストの埋め込み位置

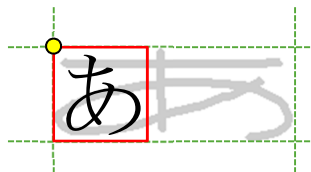
描画内容をテキストとして埋め込む際、テキストの埋め込み位置（テキスト左上の座標）は、描画内容の位置とフォントサイズから自動的に決定されます。

埋め込み位置の座標を、X座標、Y座標すると、以下のように埋め込まれます。

A：フォントサイズが描画内容の縦幅の値の場合

X：描画内容の左上の座標と同じ

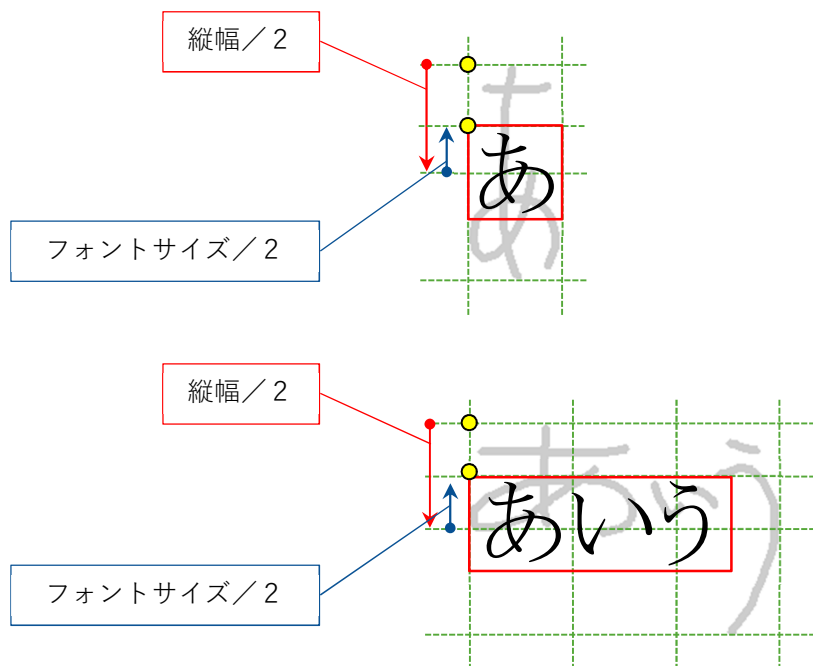
Y：描画内容の左上の座標と同じ



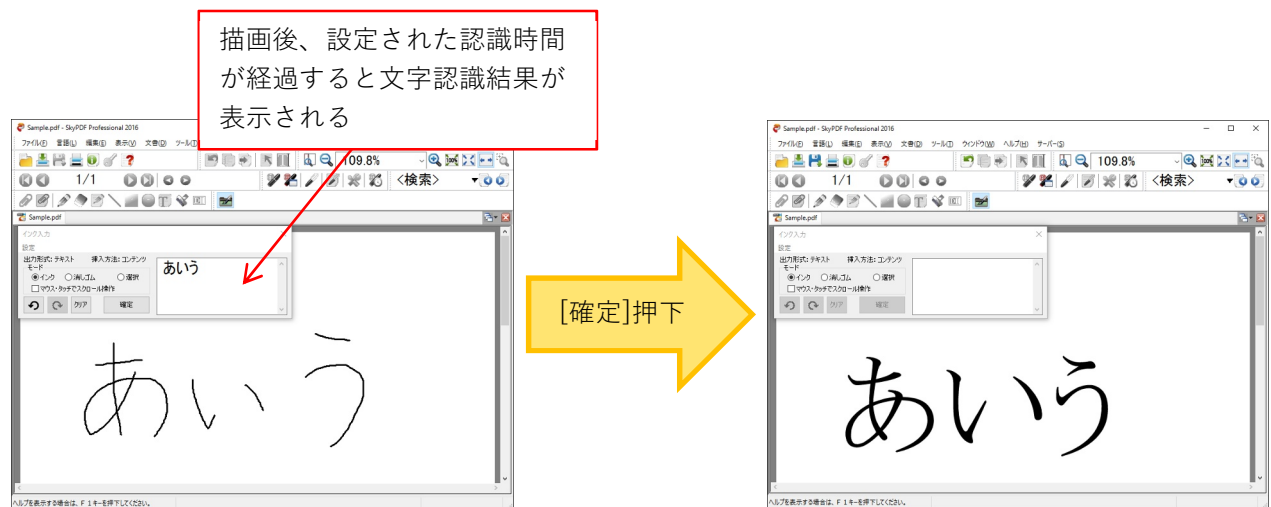
B：フォントサイズが描画内容の横幅を文字認識結果の文字数で割った値の場合

X：描画内容の左上の座標と同じ

Y：描画内容の左上の座標 + (描画内容の縦幅 / 2) - (フォントサイズ / 2)



4.3.2 [自動変換]設定が OFF のとき



確定 ボタンを押下前であれば、[インク]、[消しゴム]、[選択]モードや[Undo]、[Redo]、[クリア]ボタンによる追記や編集が可能です。

確定 ボタンを押下すると、文字認識結果エリアに表示されていた文字列が、設定されているフォントでPDF ファイルに埋め込まれます。[フォント埋め込み]の設定が ON の場合、選択されているフォントも同時に埋め込まれます。

注1. 描画後に設定画面から[自動変換]を ON にしても、自動変換は実行されません。[自動変換]を ON にした後に描画を追加すれば、OFF の時点での描画内容も含めて全て自動変換されます。

注2. 出力形式がテキストで[自動変換]が OFF の場合、描画中の設定に関わらず[確定]ボタン押下時点の設定どおりに埋め込まれます。

例えば、図 4-1 のように描画中に[インク色]の設定を変更したとしても、[確定]ボタン押下時に[インク色]が緑であれば、図 4-2 のように埋め込まれます。

図 4-1 描画内容

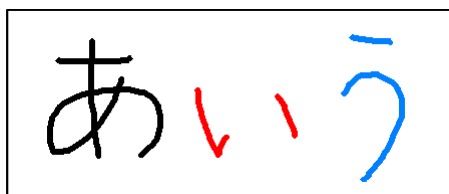
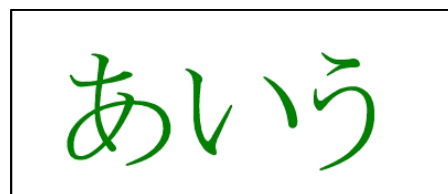
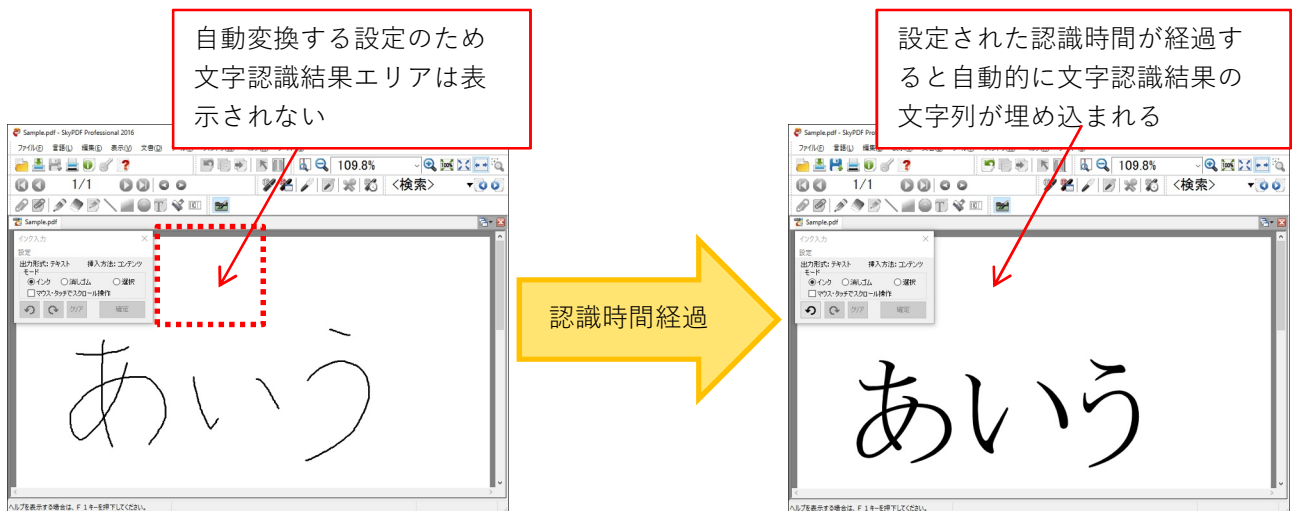


図 4-2 [確定]ボタン押下後






[インク色]に限らず設定可能なすべての設定において、[確定]ボタン押下時点のものが優先されます。

4.3.3 [自動変換]設定が ON のとき



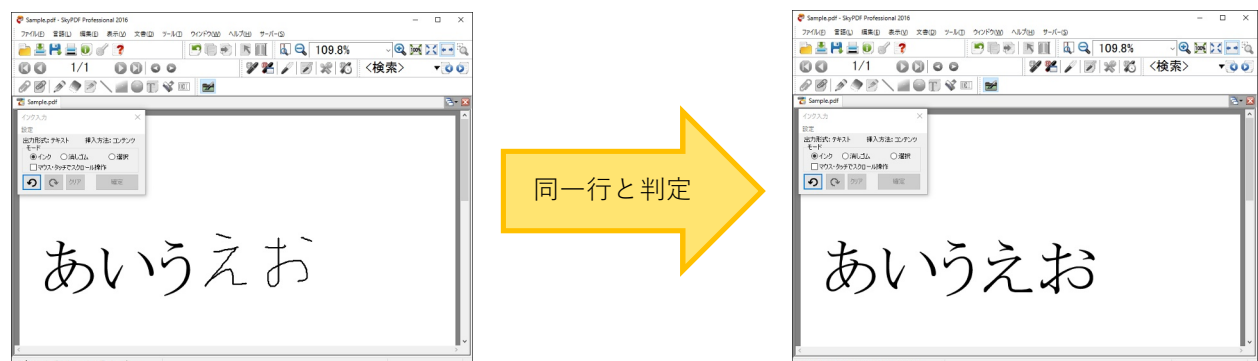
描画をやめてから[認識時間]として設定した時間が経過すると、文字認識した結果の文字列が設定されているフォントで自動的に埋め込まれます。[フォント埋め込み]の設定が ON の場合、選択されているフォントも同時に埋め込まれます。

上図の場合「あいいう」を一度に自動変換したので、を押下すると一度にすべて消えます。「あ」「い」「う」をそれぞれ一字ずつ自動変換した場合は、一字ずつ消すことができます。ただし、[自動変換]が ON のときはで消した内容をでやり直すことはできません。

追記時の同一行判定について

自動変換でテキストを挿入した後、さらに自動変換でテキストを挿入しようとする、直前に挿入したテキストを同一行かどうか自動的に判断します。同一行と判定されると、埋め込み済みのテキストに続けて同じフォントサイズで追記されます。

(例) 「あいいう」と自動変換で埋め込んだ後、下図のように「えお」を追記した場合

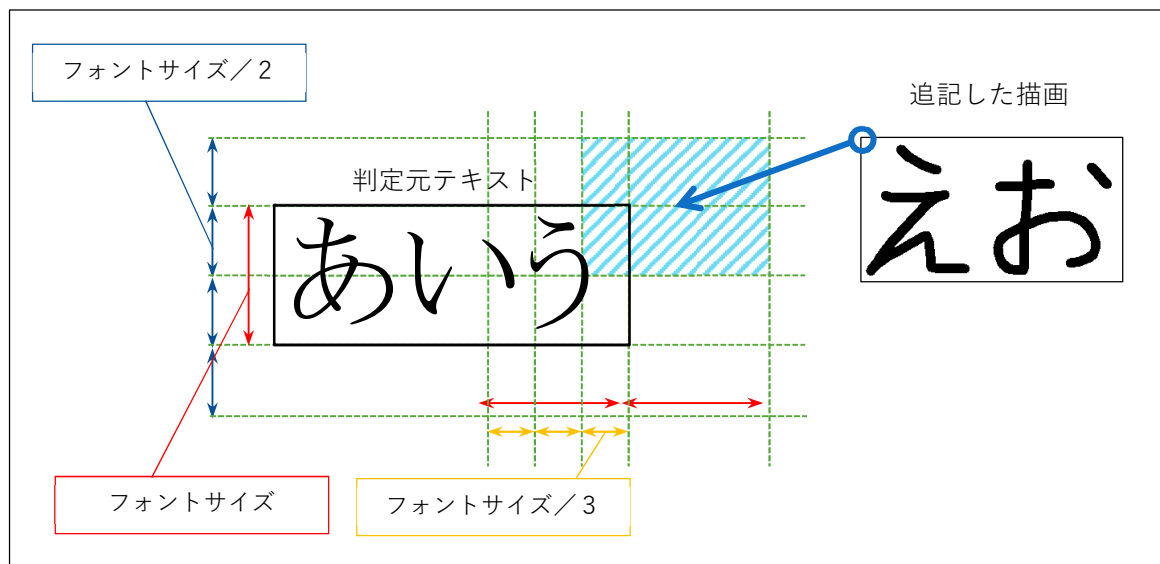


本製品では、追記した描画内容が直前に埋め込んだテキスト（判定元テキスト）から見て、以下の4つの基準を満たしていた場合のみ、同一行と判定します。

基準1 追記した描画内容のフォントサイズが、直前に埋め込んだテキスト（判定元テキスト）のフォントサイズの1/2以上あること。

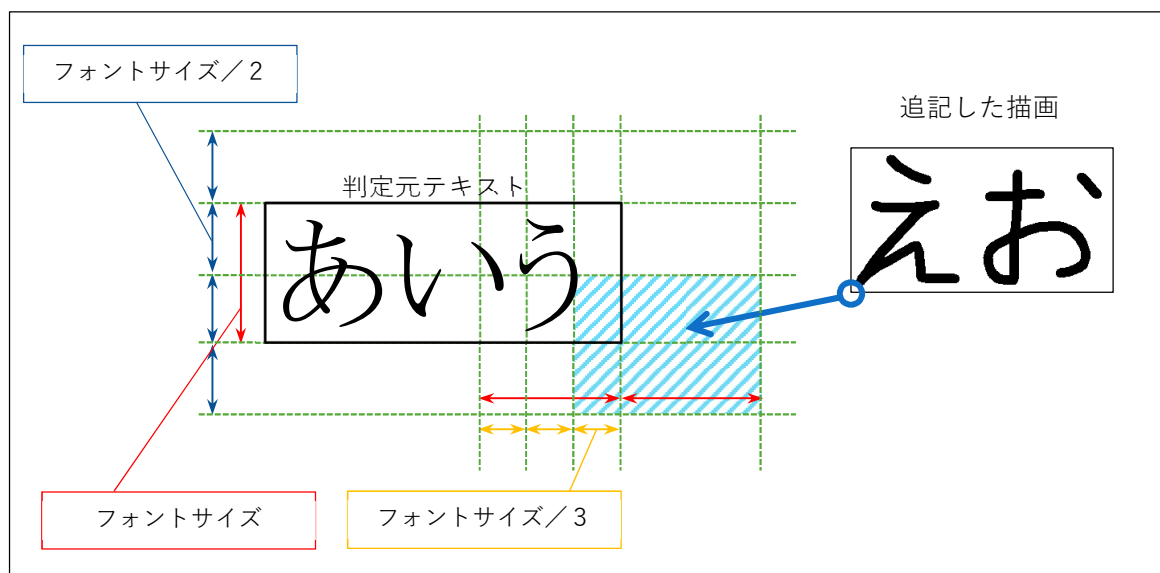
基準2 追記した描画内容の左上の座標が、図4-3の斜線の範囲内にあること。

図4-3 基準2の領域



基準3 追記した描画内容の左下の座標が、図4-4の斜線の範囲内にあること。

図4-4 基準3の領域



基準4 直前に埋め込んだテキスト（判定元テキスト）と同じフォントサイズで追加挿入しても、テキストがページ外にはみ出さないこと。

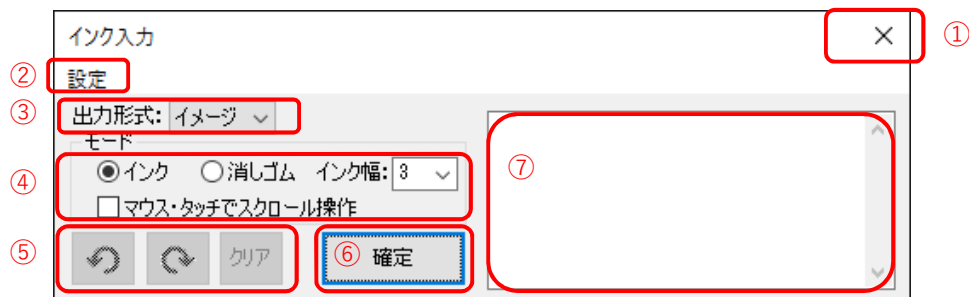
5 テキストフォームフィールドのインク入力

テキストフォームフィールドの入力にインクを使用するには、まず、[テキストフォームフィールドの入力にインクを使用する]の設定が必要です。（参照：[3.2.6 テキストフォームフィールドの入力にインクを使用する](#)）

上記設定が有効な状態で PDF 表示エリア上のテキストフォームフィールド（以下、フォームと表記）を選択すると、インク入力モードが開始します。インク入力モードの間は、画面左上にインク入力ダイアログが表示されます。

注. インク入力モードの間は、PDF ファイルの保存やインク入力以外の方法での編集はできません。
インク入力ダイアログを閉じて、インク入力モードを解除してください。

5.1 インク入力ダイアログ



① インク入力モード終了

「×」ボタンを押下してダイアログ閉じると、インク入力モードが終了します。

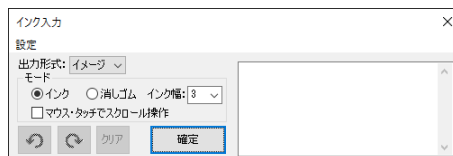
注. ダイアログを閉じるときに確定前の描画があった場合、警告なく描画内容は破棄されます。

② [設定]メニュー

□ ダイアログの向き

インク入力ダイアログの向きを変更することができます。

横



縦



③ **出力形式**

コンボボックスから[**イメージ**]、[**パス**]、[**テキスト**]のいずれかを設定できます。

(参照：[5.3 出力形式](#))

④ **モード**

カーソルのモードを選択します。

モードについての設定内容は、通常のインク入力時の設定と変わりません。(参照：[モード](#))

⑤ **Undo、Redo、クリアボタン**

□ **Undo ボタン**



<出力形式がテキストの場合>

挿入されたテキストを一つ元に戻します。

<出力形式がイメージの場合>

描画内容をストローク単位で一つ元に戻します。

□ **Redo ボタン**



Undo した描画内容をストローク単位で一つ描画し直します。

□ **クリアボタン**



選択したフォーム上の描画内容を、確定済みの入力内容も含め、すべて削除します。

⑥ **確定ボタン**

描画内容や文字認識結果を確定し、フォームに入力します。

確定すると、インク入力モードは終了します。

⑦ **文字認識結果エリア**

このエリアには、描画内容の文字認識の結果が文字列として表示され、文字認識結果を確認したり自由に編集したりすることが可能です。

5.2 適用されない設定項目

インク入力ダイアログに表示されている設定以外にも、環境設定の[インク入力]タブから各種設定を変更することができます。ただし、設定を変更しても通常のインク入力にのみ反映され、フォーム入力には適用されない設定もあります。

表 5-1 に、環境設定の[インク入力]タブで設定できる項目のうち、フォーム入力への適用の可否を示します。

表 5-1 フォーム入力に適用される環境設定

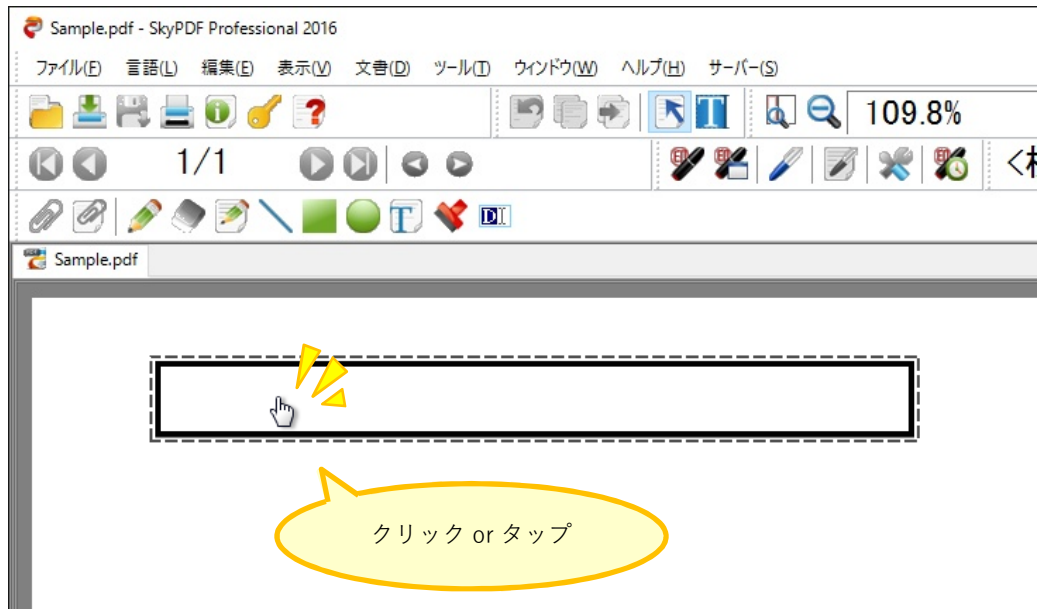
設定項目		設定適用の可否
		○ : 設定内容がフォーム入力にも適用される ○以外 : フォーム入力では表記の設定で固定されている
挿入方法の設定		常にコンテンツ
出力形式	イメージ	○
	パス	○
	テキスト	○
	文字認識	常に文字認識あり
	自動変換	常に自動変換なし
付加情報	ストローク	常にストローク情報を付加する
	GPS 情報	○
インク設定	幅	○
	色	フォームに設定されている色
	画質	○
文字認識設定	認識時間	○
	認識結果表示サイズ	○
	認識エンジン	○
	フォント	フォームに設定されているフォント
	フォント埋め込み	常に埋め込みなし
電子署名		常に電子署名なし

5.3 出力形式

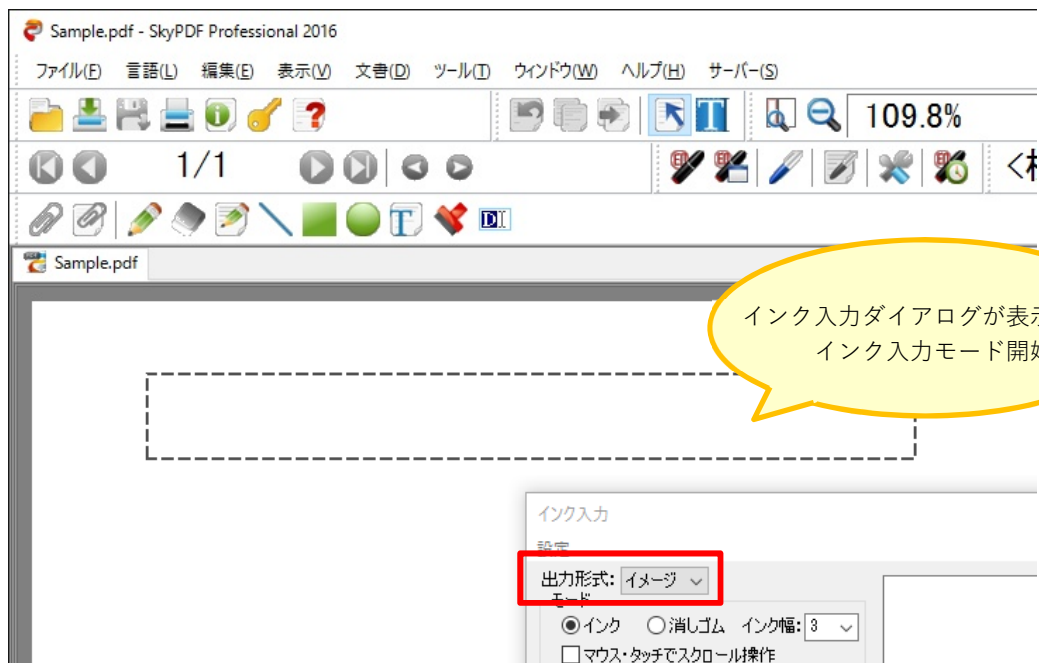
出力形式は、環境設定の[インク入力]タブか、インク入力ダイアログから設定することができます。

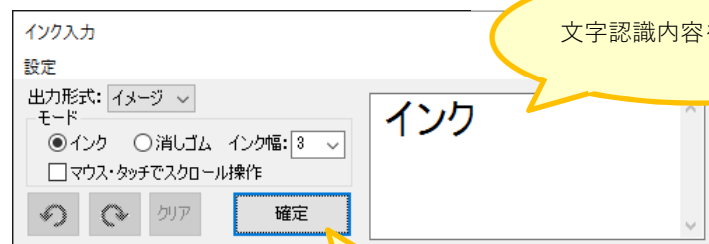
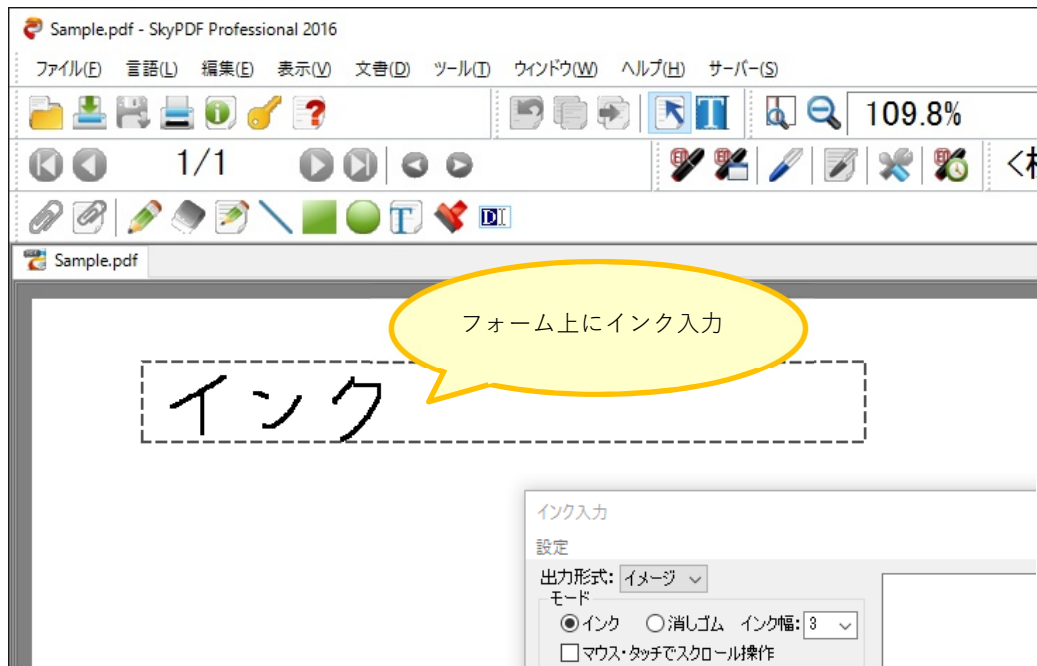
5.3.1 イメージ・パス

テキストフォームフィールドに、描画内容をイメージ形式またはパス形式で入力することができます。

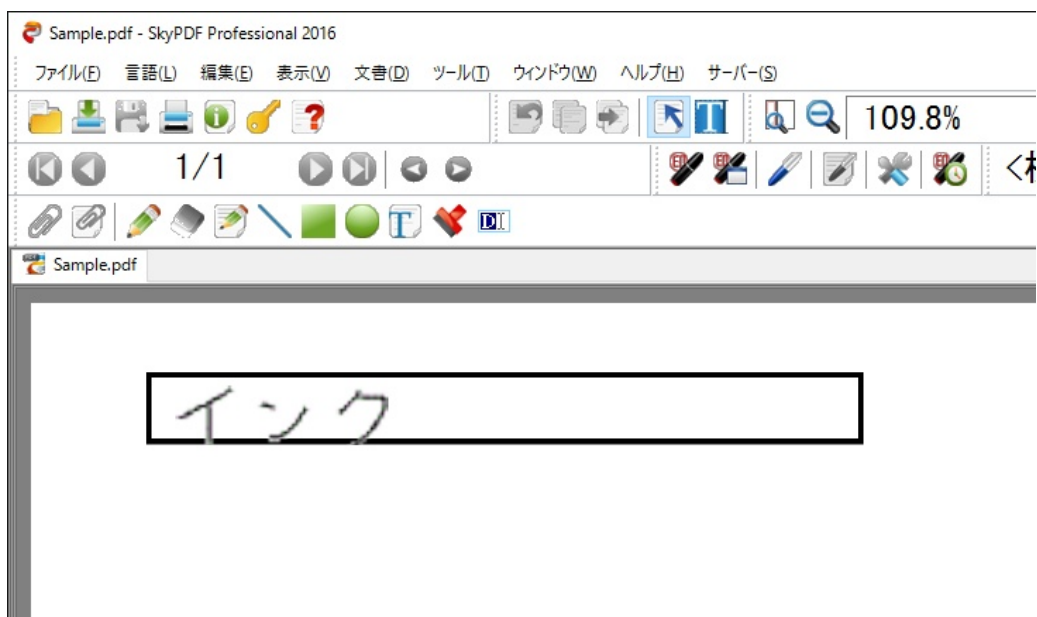


インク入力モード開始



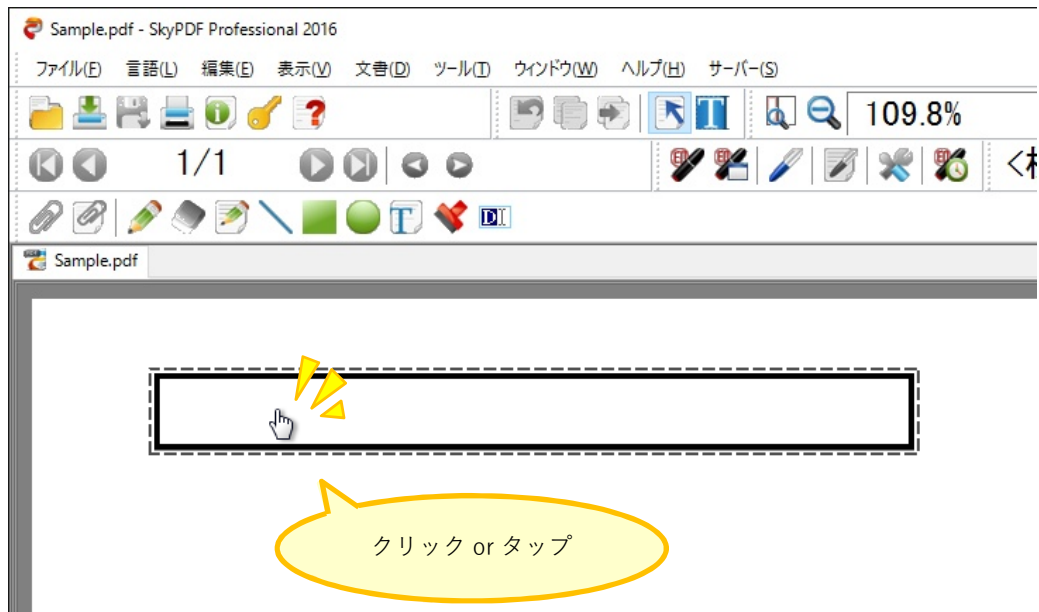


インク入力モード終了

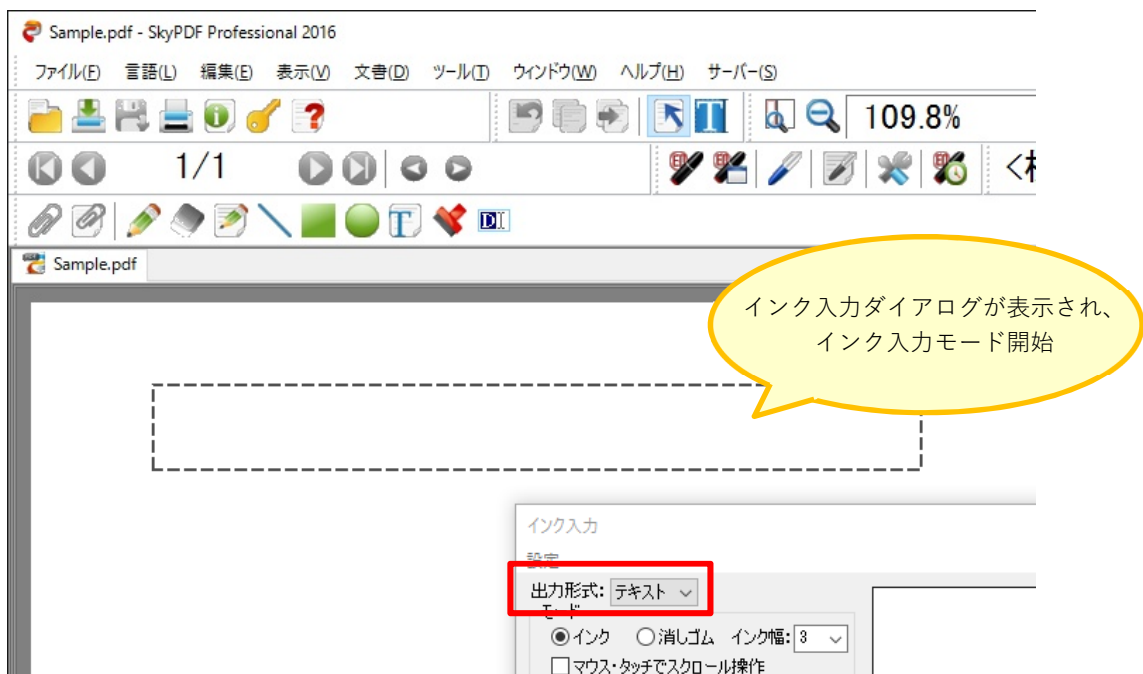


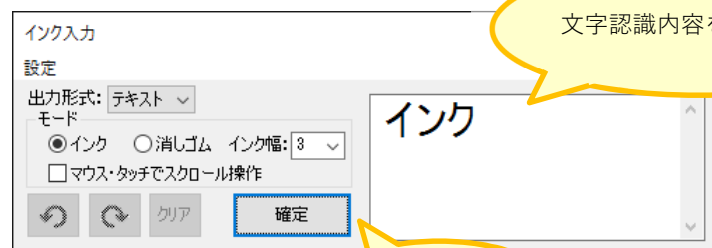
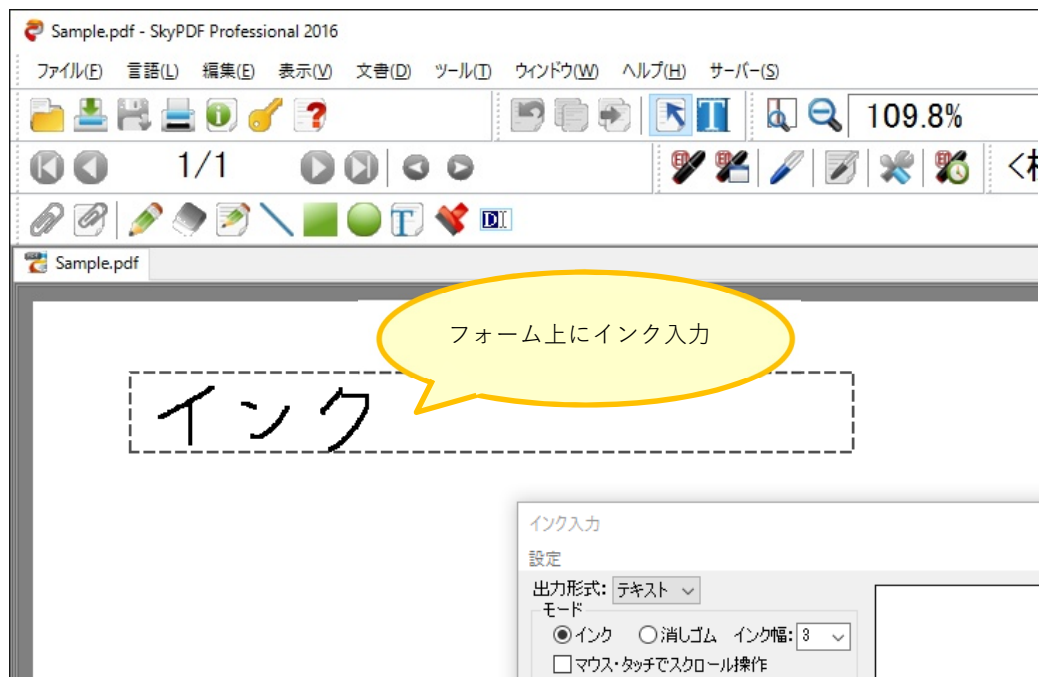
5.3.2 テキスト

テキストフォームフィールドに、描画内容をテキスト形式で入力することができます。

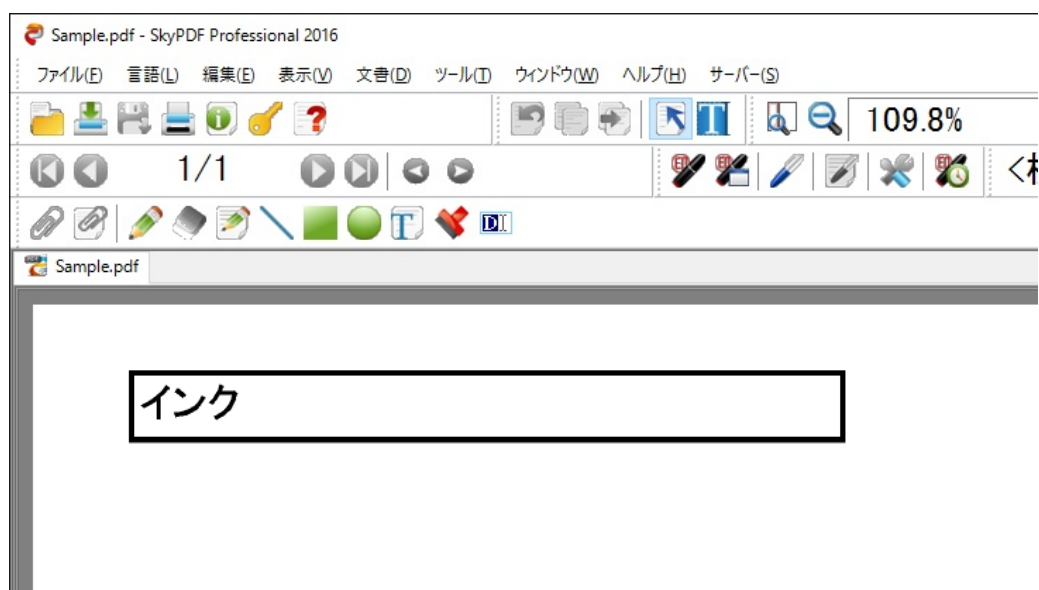


インク入力モード開始





インク入力モード終了





SkyPDF Touch Ink for win
ユーザーマニュアル

第5版 2017年11月30日 発行